

1931年	瀬戸市に生まれる
1964・65年	朝日陶芸展大賞
1967年	朝日陶芸展審査員を初めて務める
1970年	日本陶磁協会賞
1987年	東京・草月美術館 勅使河原蒼風コレクションによる 加藤清之展
1999年	パリ・ギャラリーファール個展
2005年	愛知県陶磁資料館（現愛知県陶磁美術館） 土から生み出すかたち・造形の軌跡 加藤清之展
2007年	日本陶磁協会賞金賞

朝日陶芸展審査員長はじめ多くの公募展審査員を歴任  
草月流いけばなの指導を長年にわたって行う

## 募集内容 (原則すべての日程に参加できる方を募集します)

- ◆参加資格 やきものづくりの基礎をすでに身に付け、これから陶芸家として活動を始めようとしている方、(大学や専攻科等でやきものを学んでいる方を含む)等を対象とします。
- ◆募集人数 10名
- ◆受講日 平成26年8月7日(木)・8日(金)・28日(木)・29日(金)・30日(土) 計5日
- ◆時間 7日・28日・30日 午前10時～午後3時  
(途中1時間の休憩あり)  
8日・29日 午前10時～正午
- ◆受講料 2,420円(教室使用料・焼成料)  
教材の生花代(実費)及び粘土代(500円)別途必要

## 申込方法

- ◆住所(メールでお申し込みの方はメールアドレス)・氏名・年齢・電話番号をご記入の上、「往復はがき」または「メール」にて下記の宛先までご応募下さい。
- ◆7月31日(木)必着です。(応募者多数の場合は抽選となります)
- ◆メールでのお申し込みの際、8月5日(火)までに当館から「返信メール」が届かない場合、お電話にてお問い合わせください。
- ◆くわしくは公式ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/touji/> をご覧ください。  
<宛先> 〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地 「加藤清之 特別講座」係  
<メール> touji@pref.aichi.lg.jp 件名を「加藤清之 特別講座」係と記入してください。  
<お問い合わせ> (0561)84-7474 担当 陶芸館 岩淵

## アクセス

- ◆公共交通機関  
地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、リコモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩6分  
名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・祝日のみ運行)
- ◆自家用車(駐車場無料:250台)  
東名高速道路「日進JCT」経由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から瀬戸方面に約5Km  
東名高速道路・名二環道「名古屋IC」から瀬戸・豊田・足助方面に約10Km
- ◆タクシー  
地下鉄東山線・リコモ「藤が丘」駅から約20分/名鉄「尾張瀬戸」駅から約15分

愛知県陶磁美術館 陶芸館は、陶芸家たちによって育まれた技術や感性を正しく後世に伝承していく役割を担う施設でありたいと考えています。

その第一歩として、今年度、加藤清之氏を講師に迎えて、参加者が制作する花器に「いけばな」をおこない、清之氏独自のやきものへの想い、造形感覚や技術を次の世代に伝えます。

清之氏、当館学芸員とともに完成した「花器」を囲んで意見交換を行い、参加者が今後の制作への手がかりを掴めるような時間をもちます。また、常設展、企画展を担当する学芸員の解説を聞きながら「鑑賞」することにより、やきものへの理解を深める機会も設けます。

## カリキュラム

- ◆第1日(4h) 花器の制作
  - ◆第2日(2h) 花器の制作2
  - ◆第3日(4h) 作品鑑賞(常設展)  
—講師作品を中心に—  
「花器」をかこんでの意見交換
  - ◆第4日(2h) 作品鑑賞(企画展)  
高麗・李朝の工芸  
—陶磁器、漆器、金属器—
  - ◆第5日(4h) 花器に花をいける  
講師講評
- ※カリキュラムは都合により変更する場合があります

